

令和6年度第3回中小企業・小規模企業振興会議 議事録（要旨）

日時：令和7年2月7日（金） 10：00～11：30

場所：大手口センタービル5階 会議室

1 委員長挨拶

2 出席者、定足数の確認

(1) 委員14名中10名の出席により会議は成立

(2) 出席者は次のとおり

委員名：古川、古賀、岡田、井原、藤島、小峰

(ZOOM参加) 熊本、宮本、江木、山形

オブザーバー2名：佐賀県イノベーションセンター 中川、大村
事務局

商工振興課（安岡課長、下尾、増野、吉村、江口）

企業立地課（平田副部長）

観光文化課（岡本）

4 議事

(1) 唐津市商工業振興基本計画（第2次）について

事務局から唐津市商工業振興基本計画（第2次）について説明。

ア 計画概要

第2次唐津市商工業振興基本計画がまとまり、意見聴取のため議案として提出。

今後のスケジュールについては、2月17日から約1か月パブリックコメントを実施し、年度内に完成予定。

計画期間は令和7年4月～令和10年3月（3年間）。

上位計画である「第3次唐津市総合計画」および「中小企業・小規模企業振興条例」に基づいて策定。

イ 見直しの背景と目的

現行の第1次計画が本年度で終了。新しい総合計画と市内企業へのアンケート

ート結果をもとに、課題と重点施策を整理。

ウ アンケート結果（回答率56.2%）

市内企業の課題・要望として以下の7点が抽出された

1. 物価高騰・人材不足による経営影響
2. 経営力強化（DX・GX支援、経営計画策定支援等）
3. 企業誘致・受け皿整備
4. 中心市街地・地域商業の活性化
5. 新たな基幹産業の創出
6. 地域一体型の観光まちづくり
7. 観光地経営の推進

エ 基本方針・重点施策の主な見直し点

企業力：コロナから物価高・人材不足への対応強化へ／DX・GXによる競争力強化

人材力：創業・承継支援→地域経済牽引企業創出へ

流通力：新たに「コスメ関連産業の振興」を追加

観光力：インフラの活用整理、海外向けプロモーション強化を追加

オ 委員からの主な意見・質疑応答

脱炭素社会：技術面だけでなく、ビジネス支援も含めた施策検討中。

事業承継：重要性の指摘あり。通常業務として対応中だが、周知不足との声もあり改善が課題。

若年層支援：高校生の起業・就職支援に産官学連携の可能性を指摘。

【委員からの意見】

（委員）脱炭素社会の実現に向けて。具体的なことは次の議会で出てくるという事か。

→施策については技術的な面だけではなくて、ビジネスの支援（伴走支援、人材育成）など、補助金以外の面も考えている。

（委員）人材について。廃業が増えているので事業承継も課題であると思うが、今回は盛り込んでいないのか

→事業承継は通常業務と考えているので、今回は盛り込んでいない。

（委員）人材について。高校生という言葉がよく出ている。南高の松葉ジンなど大変好評を得ているが、学校・生徒であることから色々と制限がかかっているようで勿体ない。生徒の就職や創業に産官学連携で関わる等何かできないか。

→担当課と項目ごとに練っている状態。担当課にも意見を共有する。

（委員）事業承継についての考え。具体的にどうしているのか。情報が伝わりにくい状況がある。相談窓口など今後一層の周知が必要だと思う。

→通常業務であるという考え方であるが、県や商工団体との連携や周知方法等今後の課題と捉え対応したい。